



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	桜台団地マンション建替事業(A1ブロック)	階数	地上6F、地下1F
建設地	横浜市青葉区桜台41番1、41番2	構造	RC造
用途地域	一種中高層、防火地域、第三種高度地区	平均居住人員	744 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2022年4月15日
敷地面積	14,226 m ²	作成者	㈱松田平田設計 横浜事務所
建築面積	3,922 m ²	確認日	2022年4月15日
延床面積	15,644 m ²	確認者	㈱松田平田設計 横浜事務所

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.3

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

①参照値 100%
②建築物の取組み 83%
③上記+②以外の 83%
④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.1

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
<ul style="list-style-type: none"> 桜台公園と繋がる緑に包み込まれた住環境の実現 採光、通風が確保できる施設配置計画 		
<h4>Q1 室内環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> 品確法の断熱等級 4 等級 カーテンや庇を合わせて昼光を制御 品確法のホルムアルデヒド発散等級 3 	<h4>Q2 サービス性能</h4> <ul style="list-style-type: none"> 光ケーブル、メタルケーブル等通信の多様化 建物全体のコンセプトが明確にあり、内装に反映している 品確法劣化対策等級 3 	<h4>Q3 室外環境(敷地内)</h4> <ul style="list-style-type: none"> シラカシ、ソヨゴ等の自生種を植樹 植栽により良好な景観を形成している
<h4>LR1 エネルギー</h4> <ul style="list-style-type: none"> 潜熱回収型給湯器、LED照明設備を採用 	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <ul style="list-style-type: none"> ODP=0、GWP=50未満の発泡剤を用いた断熱材を使用 	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <ul style="list-style-type: none"> ライフサイクルCO₂排出率を参照値より抑制

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

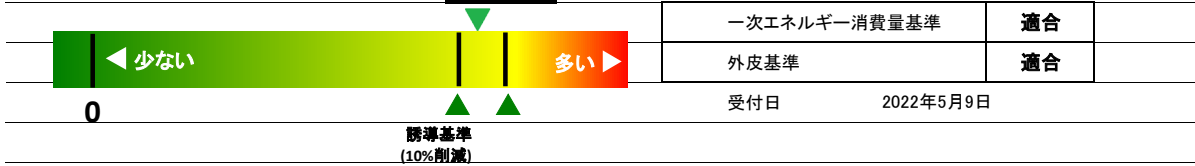
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 **桜台団地マンション建替事業(A1ブロック)**

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) **【省エネルギー性能】 2**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 **6** %削減



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①品確法断熱等級4

③BEI=0.94

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) **【健康・安心】 4**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当) ※全住戸の断熱性能のレベルの加重平均による

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥品確法ホルムアルデヒド発散等級3

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) **【防災】 3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑯品確法劣化対策等級3

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) **【地域・まちづくり】 3**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	
— — —	



CASBEE横浜2017年版v.1.7
桜台団地マンション建替事業(A1ブロック)

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
							評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									3.2
Q1 室内環境									3.5
1 音環境			3.0	0.15	3.2	1.00			3.2
1.1 騒音			3.0	0.50	3.0	0.50			-
1.2 遮音			3.0	0.50	3.5	0.50			-
1 開口部遮音性能			3.0	1.00	3.0	0.30			-
2 界壁遮音性能			-	-	4.0	0.30			-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	4.0	0.20			-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20			-
1.3 吸音			-	-	-	-			-
2 温熱環境			2.6	0.35	4.0	1.00			3.8
2.1 室温制御			3.0	0.50	4.0	1.00			-
1 室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.63	-	-			-
2 外皮性能	快適・働きやすさ 健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能	3.0	0.38	4.0	1.00			-
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-			-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.20	-	-			-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.30	-	-			-
3 光・視環境			2.7	0.25	3.2	1.00			3.1
3.1 屋光利用			3.0	0.30	2.5	0.50			-
1 屋光率	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	2.0	0.50			-
2 方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	-	3.0	0.30			-
3 屋光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	1.00	3.0	0.20			-
3.2 グレア対策			2.0	0.30	4.0	0.50			-
1 屋光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	1.00	4.0	1.00			-
3.3 照度	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.15	-	-			-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	-	-			-
4 空気質環境			3.6	0.25	3.7	1.00			3.7
4.1 発生源対策			4.0	0.60	4.0	0.63			-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	4.0	1.00	4.0	1.00			-
4.2 換気			3.0	0.40	3.3	0.38			-
1 換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	4.0	0.33			-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.50	3.0	0.33			-
4.3 運用管理			-	-	-	-			-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-			-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-			-
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-			3.0
1 機能性			3.3	0.40	3.2	1.00			3.2
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	4.0	0.60			-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	4.0	1.00			-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	1.00	-	-			-
1.2 心理性・快適性			4.0	0.30	2.0	0.40			-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	3.0	0.50			-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	-	-	-	-			-
3 内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	4.0	1.00	1.0	0.50			-
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-			-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.50	-	-			-
2 耐用性・信頼性			3.1	0.30	-	-			3.1
2.1 耐震・免震			3.0	0.50	-	-			-
1 耐震性	防災	⑬耐震・免震	3.0	0.80	-	-			-
2 免震・制振性能	防災	⑬耐震・免震	3.0	0.20	-	-			-
2.2 部品・部材の耐用年数			3.6	0.30	-	-			-
1 躯体材料の耐用年数	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.20	-	-			-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.10	-	-			-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.20	-	-			-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑭部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.20	-	-			-
2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-			-
1 空調・換気設備	防災	⑮信頼性	-	-	-	-			-
2 給排水・衛生設備	防災	⑮信頼性	3.0	0.25	-	-			-
3 電気設備	防災	⑮信頼性	3.0	0.25	-	-			-
4 機械・配管支持方法	防災	⑮信頼性	3.0	0.25	-	-			-
5 通信・情報設備	防災	⑮信頼性	3.0	0.25	-	-			-
3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.8	1.00			2.8
3.1 空間のゆとり			-	-	2.6	0.50			-
1 階高のゆとり			-	-	3.0	0.60			-
2 空間の形状・自由さ			-	-	2.0	0.40			-
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50			-
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-			-
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-			-
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-			-
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-			-
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-			-
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-			-

CASBEE[®]横浜 | 評価結果 | 4-015



CASBEE横浜2017年版v.1.7
桜台団地マンション賃貸事業(A1ブロック)

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート		実施設計段階		重点項目				
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
				評価点	重み係数	評価点	重み係数	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2017年版v.1.7
桜台団地マンション建替事業(A1ブロック)

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	<非住宅> <集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
		Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり ⑩生物環境の保全と創出	3.0	0.30	-	-	3.0		
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり ⑨まちなみ・景観への配慮	3.0	0.40	-	-	3.0		
3 地域性・アメニティへの配慮		3.5	0.30	-	-	3.5		
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり ⑫地域性への配慮	3.0	0.50	-	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ ⑭敷地内温熱環境の向上	4.0	0.50	-	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.2		
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.5		
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能 ①建物の熱負荷抑制	4.0	0.20	-	-	4.0		
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能 ②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	3.0		
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能 ③設備システムの高効率化	3.6	0.50	-	-	3.6		
4 効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0		
集合住宅以外の評価		-	-	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	-	-	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	-	-	-	-	-		
集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	-		
4.1 モニタリング	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能 ④効率的運用	3.0	0.50	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.0		
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4		
1.1 節水		4.0	0.40	-	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	1.00	-	-	-		
2 雑排水等利用システム導入の有無		-	-	-	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60	-	-	2.8		
2.1 材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	-		
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		1.0	0.20	-	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		5.0	0.20	-	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.3	0.20	-	-	3.3		
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避		3.5	0.70	-	-	-		
1 消火剤		-	-	-	-	-		
2 発泡剤(断熱材等)		4.0	0.50	-	-	-		
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	-		
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.2		
1 地球温暖化への配慮		3.6	0.33	-	-	3.6		
2 地域環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1		
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.5	0.25	-	-	-		
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	-		
2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-		
3 交通負荷抑制		5.0	0.25	-	-	-		
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	-		
3 周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0		
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	-		
1 騒音		3.0	1.00	-	-	-		
2 振動		-	-	-	-	-		
3 悪臭		-	-	-	-	-		
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	-		
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	-		
2 砂塵の抑制		-	-	-	-	-		
3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	-		
3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	-		
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	-		
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	-		
上記以外の重点項目								
<事務用途>								
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ ⑬知的生産性向上への取組	-	-	-	-	-		
<住宅用途>								
健康と安心								
1 化学汚染物質の対策	健康・安心 ⑥健康対策	5.0	-	-	-	-		
2 適切な換気計画	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-		
3 結露・カビ対策	健康・安心 ⑥健康対策	3.0	-	-	-	-		
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心 ⑦防犯対策	3.0	-	-	-	-		